

# 第2回チャレンジ支援 報告 (2017年募集・2018年支給)

## 第2回海外チャレンジ支援助成受給者

受給者内訳				合計
氏名	平沢 拓也	ミッチェル ティファニー 希	佐藤 圭一郎	3名
区分	長期留学	長期留学	短期留学	
所属大学・学科	東洋大学国際学部グローバル・イノベーション学科	東洋大学国際地域学部 国際地域学科	早稲田大学教育学部教育学科生涯教育学専修	
学年（留学時）	3年	4年	3年	
留学先	Cardiff Univ., Cardiff,U.K.	Appalachian State Univ.,NC, U.S.A.	国立台湾師範大学 台北市 台湾	
テーマ	～クールジャパン～日本の文化を世界の文化に。	私が私でいるための留学（日本でハーフの私を感じた違和感をもとに、海外では自分かのように認識されるか。）	近年のアジア情勢を鑑み、実際の現地に行っ てこそ得られるものがある と考えた。また現地の人と交 流して国際コミュニケーション の実際を経験することを目 的とする。	
留学期間	2018年9月20日～ 2019年6月21日	2018年8月15日～ 2019年5月15日	2018年8月26日～ 2018年9月15日	

日本の文化を世界の文化に。

平沢 拓也

## 自己紹介

- 小山台高校卒業（2017年）
- 東洋大学 国際学部入学
- 国内海外問わずアニメが大好き
- ゲーム好き
- 英語好き

留学のきっかけ  
昨今の日本のサブカルチャーブームを受けて、  
もっと世界中の人に知ってもらいたい。

必要なモノ  
アニメ業界へのコネ  
日本文化を広める実践的な体験  
アニメ業界への知識

知識・実践の応用を通して日本のサブカルチャーの文化推進活動に役立てる  
知識・実践の応用を通して日本のサブカルチャーの文化推進活動に役立てる

## 渡英前の留学計画

2018年9月

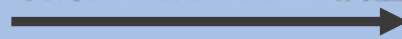


2019年5月



こたつ日本アニメ  
映画祭で文化推進活動

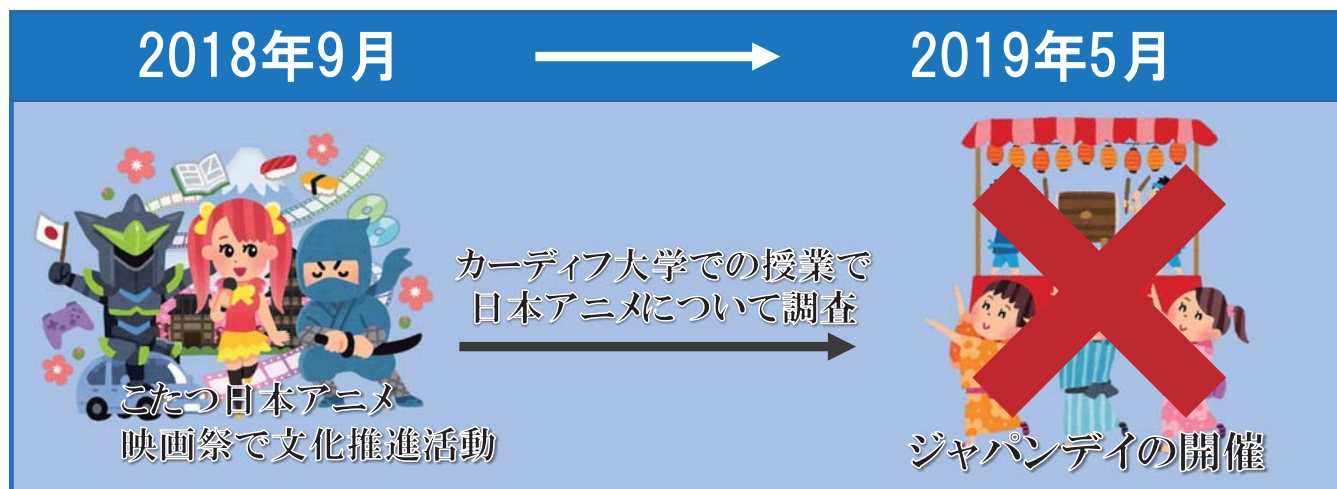
カーディフ大学での授業で  
日本アニメについて調査



ジャパnデイの開催

知識・実践の応用を通じて日本の  
サブカルチャーの文化推進活動に役立てる

## 実際にできたこと



大学とウェールズ日本人会の都合により2019年の開催はなし…

## こたつ映画祭で得られたこと

### 将来的にプラスになったこと

- 有名なアニメーターの方にインタビューをし、アニメ業界の現状が知れた。
- 文化推進活動の楽しさや充実感を知ることが出来た。
- 日本文化をビジネスにしている方や大学で教えている方と出会えた

### 新しく学んだこと

- 日本アニメはみんなが見ているわけではない。
- ファンの人は日本のアニメを見る機会はオンラインでグッズなどもオンラインでしか手に入れることが出来ない

# こたつ映画祭の様子

**ANIM18**  
A CELEBRATION OF  
BRITISH ANIMATION

**ANIM18: KOTATSU JAPANESE ANIMATION FESTIVAL /  
GWYB ANIMEIDDIO KOTATSU JAPAN**

**Workshops / Gweithdai**

**Tsuneko Goda Workshop / Gweithdy Tsuneko Goda**  
29.09 15:45 - 20.09 11:30  
Tsuneko Goda (creator of NANA's Domei) will lead a workshop to learn the basics of character design.  
Wediada ydy 10.00. 18-25. 18-25.  
Bydd Tsuneko Goda (creador domo NANA) yn arwain gweithdy / cyfwrdd hysgrifwriaeth a characterau.  
Gweithdy y dy 10.00. 18-25. 18-25.

**Tsuneko Goda and Hirokazu Minegishi Masterclass /  
Dobarth Maistr gyda Tsuneko Goda a Hirokazu Minegishi**  
29.09 13:30  
Join the creator of Seki's Domo and the creator of Komameko: The Curious Cat as they talk about their work, introduced by Joanna Quinn and followed by a signing event.  
Ymunwch â chreawdwr Domo a chreawdwr Komameko: The Curious Cat, a fydd yn sôn am eu gwaith. Cyflwyniad gan Joanna Quinn, gyda seicnwr llofnod i ddilyn.

**Hirokazu Minegishi Animation Demonstration / Arddangosiad Animeiddio Hirokazu Minegishi**  
29.09 13:30  
Hirokazu Minegishi (animator of Komameko - The Curious Cat) will give a live animation demonstration for an audience followed by a Q&A.  
Bydd Hirokazu Minegishi (animeiddwr Komameko: The Curious Cat) yn cyflwyno arddangosiad byw o animeiddio, i'w dilyn gan seicnwr llofnod a Q&A.

29 / 22.30 / 10.00 / 10.00

**Fireworks**  
28.09  
Japan 2017 (2018) / 10.00 / 10.00 / 10.00 / 10.00  
Roughly and his friends are looking forward to seeing the summer fireworks but when he receives an invitation from Naazura to run away his plans change.  
Yn eiddo ei hysgrifwriaeth / i'w dilyn gyda Naazura, mae eu cynlluniau'n newid.

**Vampire Hunter D: Bloodlust**  
29.09  
Japan 2009 (2009) / 10.00 / 10.00 / 10.00 / 10.00  
Infamous vampire hunter D is hired to locate Charlotte Ebourne, the daughter of an affluent family who has been kidnapped by a powerful foe named Meier Link. Can't he better vampire D is getting a job to find Charlotte Ebourne, mae'n ddiolgu cyfwrdd i'w dilyn Meier Link.

**Mary and the Witch's Flower**  
29.09  
Japan 2017 (2017) / 10.00 / 10.00 / 10.00 / 10.00  
Mary is an ordinary girl who goes on an extraordinary adventure after finding a rare blue flower that grants magic powers.  
Mae Mary yn farch cyffwrdd sy'n mynd ar anfarhadradd ar ôl ddiolgu flodyn gwyrdd i'w dilyn Meier Link.

**Arrietty**  
29.09  
Japan 2012 (2012) / 10.00 / 10.00 / 10.00 / 10.00  
Arrietty is from a race of tiny people who live under the floorboards in Tokyo where she befriends Sho, a human boy just as her family come under threat.  
Mae Arrietty yn farch i'w dilyn Meier Link yn farch i'w dilyn Meier Link.

**Maquia: When the Promised Flower Blooms**  
29.09  
Japan 2018 (2018) / 10.00 / 10.00 / 10.00 / 10.00  
When the immortal Maquia's people are attacked she is forced to flee and saves a human baby, creating a bond that complicates her already difficult existence.  
Ar ôl ymddisoddiad ar ôl y Maquia ar ôl ddiolgu, can't Maquia ei hysgrifwriaeth / i'w dilyn Meier Link yn farch i'w dilyn Meier Link.

**Tokyo Ghoul (live action / drama fyw)**  
29.09  
Japan 2017 (2017) / 10.00 / 10.00 / 10.00 / 10.00  
Ken Kaneki struggles to adapt to his life as a half-ghoul.  
Mae Ken Kaneki yn ei chael i'w dilyn Meier Link i'w dilyn Meier Link.

**When Marnie Was There**  
30.09  
Japan 2014 (2014) / 10.00 / 10.00 / 10.00 / 10.00  
Studio Ghibli's final film follows Anna Sasaki who moves to a seaside town where she meets Marnie, a mysterious girl who has life-changing secrets.  
Mae Marnie yn farch i'w dilyn Meier Link i'w dilyn Meier Link.

**Psychic School Wars**  
30.09  
Japan 2012 (2012) / 10.00 / 10.00 / 10.00 / 10.00  
High schooler Kenji Saki's boring life becomes weird when he encounters a mysterious transfer student with psychic powers and plans for taking over the school.  
Mae Kenji yn farch i'w dilyn Meier Link i'w dilyn Meier Link.

**Attack on Titan: The Roar of Awakening**  
30.09  
Japan 2014 (2014) / 10.00 / 10.00 / 10.00 / 10.00  
Eren Yeager and the Survey Corps continue to face the Titans but more mysteries are revealed including dark secrets of their own members.  
Mae Eren Yeager a'r Survey Corps yn agwredu y Titans o hysgrifwriaeth / i'w dilyn Meier Link i'w dilyn Meier Link.

**Raffle / Raffi**  
30.09  
Two part in the Kotatsu raffle to win a variety of prizes from the UK and Japan, including special items brought by our guests Tsuneko Goda and Hirokazu Minegishi.  
Dylfe i wneud arwyddiadau o wobrau Kotatsu a Brydain a Japan, gan gynnwys nwyddu arbennig gan ein gwethwyr, Tsuneko Goda a Hirokazu Minegishi.

# こたつ映画祭の様子



## 日本では得られなかったこと



## 授業で得たこと

### Managing People

#### 日本のアニメーターの労働環境調査

- アニメーターに対する福利厚生
- 雇用条件の改善



## 労働環境の違い（日本）



過労・低賃金・不安定雇用

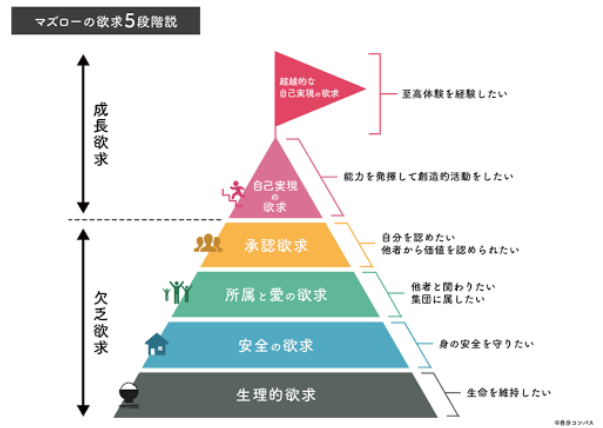
## 労働環境の違い（海外）



給料制・正規雇用

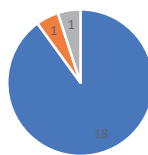
# ハーズバーグとマズロー

## 動機付け・衛生理論（二要因理論）

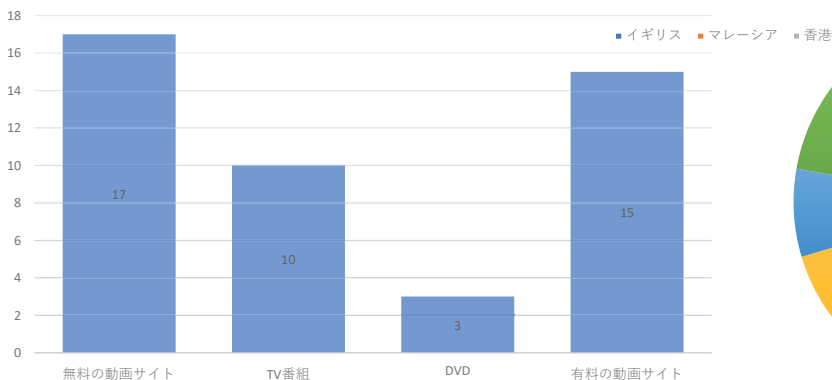


# 調査

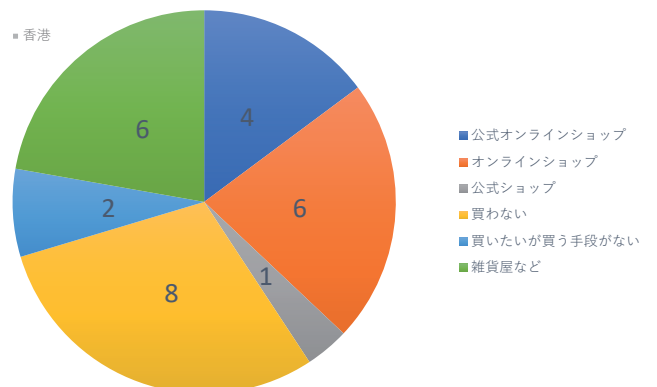
被験者の国籍(20人)



アニメの視聴方法（複数選択可）



アニメグッズの購入手段(複数選択可)





# 日本のアニメを盛り上げるには？

## -アニメ制作側-

持続的かつ優秀な人材の確保のためには賃金をあげるのではなく福利厚生や職場環境の改善が必要  
若いアニメーターが育つことにより、よりよいアニメを制作し続けることが出来る。

## -マーケティング的視点-

オンラインストリーミングサービス  
公式ショップやイベントの増設

## 今後

ジャパンデイが出来なかった代わりに  
文化推進活動を今後更に実践していきたい！

日本のおもちゃやアニメの商品を  
ディズニーワールドで売りたい!

## 終わりに

私の留学は皆様のご支援がなければ  
こんなに充実したものにはなりませんでした。  
この場を借りて感謝申し上げます。  
また、ご清聴ありがとうございました。

# 小山台財団 海外チャレンジ支援報告

海外チャレンジ支援 第二期生

東洋大学国際地域学部国際地域学科4年 ミッチェル ティファニー希

## 留学の動機

- 自身のバックグラウンド  
→日本社会に生きるハーフ
- 長年抱えていた英語へのストレス  
→自分の伝えたいことが伝わらない悔しさ
- 日本での講義が少ない分野の勉強  
→人種差別の歴史や原因に関してより詳しく学ぶことができる

## 定義

- ハーフHa-fu：日本人と外国人（出身）の両親を持つ日系国際児

→「半分（half）ずつの血を引き継ぐ」という由来のもとこれらの日系国際児をハーフと呼ぶようになったが、「半分」を欠けている、とみなす欧米、北米ではミックスルーツ（Mix roots）やダブル（Double）と呼ばれることが一般的である。

留学テーマ

私が私でいるための留学

## テーマ理由

- 日本でのハーフコミュニティ所属により日本社会でのハーフの生きずらさに関する声を直接聞くようになる。

- 人種のるつぼと呼ばれるアメリカにおける留学は、ハーフである自身の捉われ方の違いを日本と比較することができるのではないか。

→日本では見た目からハーフと判断されることが大半だが、多種多様な人種を抱えるアメリカでは、見た目だけでハーフと判断されることがあるのか否か、など。

- 日本というハーフが特別視された環境からの脱却により、自身の本当のアイデンティティが浮き彫りになるのではないか。

## Appalachian State University

### アメリカ合衆国ノースカロライナ州ブーン

- Boone：人口2万人に満たない街
- 学生数約18,000人うち留学生約2,500人
- 人種割合 白人：黒人アジア=9：1
- 学生の大半はBoone周辺の地元から入学
- 白人に次いでラテン系が多いように見て取れた。



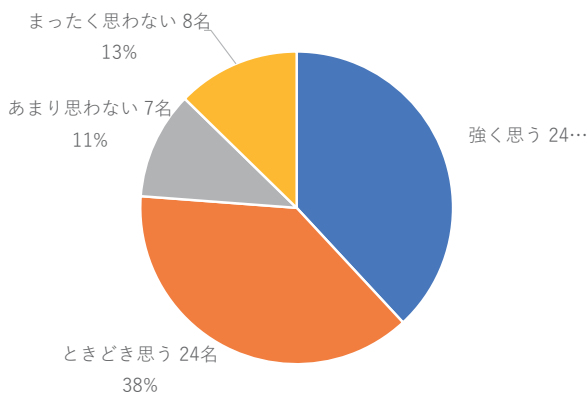
## 実施内容

- 日本でのハーフに対する意識調査（留学前）
- アメリカでのハーフに対する意識調査（留学中2回）
- アメリカ在住のハーフへのインタビュー
- アメリカでの人種に関する講義
- 普段の生活の中でアメリカ人の差別意識の有無を観察

## 留学前調査結果（2018/5－6）

- 調査目的：ハーフの日本社会に対する考えを知る。
- 調査対象：ハーフ（Facebookのハーフコミュニティに協力依頼）
- 回答者数：63名

### 自分がハーフという自覚があるか



### ハーフと自覚する場面

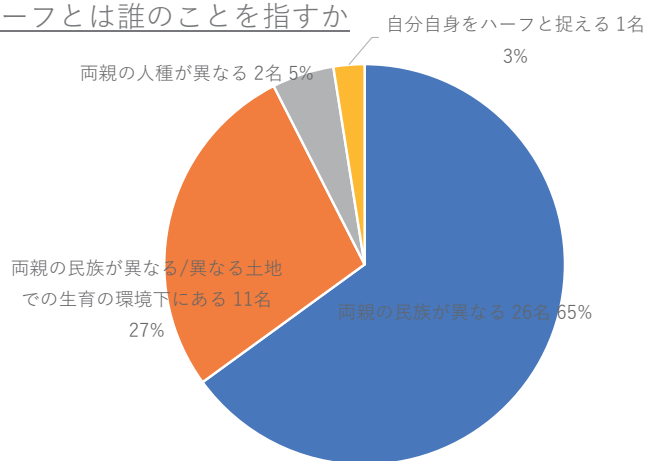
- 日本人に容姿に関して言及される時。
- 日本人からの対応が明らかに日本人と異なる時。
- 日本にいる時
- When I visit Japan, I'm more aware of being Japanese and feel proud to be Japanese. In America I feel proud to be multiracial.
- 初対面の人に日本語が上手と言われる時。
- 日本に来てから自覚するようになった。
- 日本人にいじめられた時。
- 純日本人とは違うと外国人扱いされた時。

# 留学時調査結果 (2018/9) ①

- 調査内容：ハーフに対する印象、ハーフのアメリカでの生活環境
- 調査対象：アメリカ現地学生、留学生
- 回答者数：41名（うちハーフ7名）

## 異なる人種に対して差別意識があると答えた人の自由記述

ハーフとは誰のことを指すか



- 人種の異なる人々と自分がまったく同じ人間だと自然に考えることはできない。しかし、人種、社会的地位に捉われず平等に接するべきである。
- 人種や文化問題に関してはメディアや噂、それらに関わった人からでさえも影響を受けてきた側面がある。いじめなどのきっかけがそれらから与えられてしまうのは避けることができない事実である。
- 育ってきた環境が人種問題とは無縁であった。それゆえ、自分が彼らの人種が違うこと念頭において彼らと接していた。
- 社会的影響によって自身の彼らへの見方が違い、固定概念がある自覚はあるが、偏見ではない。
- 白人はいまだに超越した存在であるという考えが残っている。

# 留学時調査結果 (2018/9) ②

ー自身がハーフであると答えた7名に対してのアンケートー

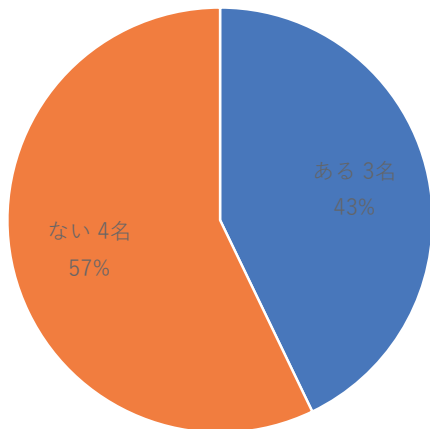
いじめや偏見を受けたことはありますか。はいの回答：5名

→•高校時代に“*You're a Beaner /Wetback* (良くない意味でメキシコ人を示す)”や“*国に帰れ*”と言われた。

- “あなたは明らかに白人ではない、では誰だ”
- 肌の色が家族の中で1人だけ違うことをきっかけにいじめられた。
- 黒い肌を持ちながら日本語が話せることを日本人に面白く言われ、またアメリカでは“もしあなたが（生活環境下より）アジア人だったら”と聞かれる。

# 留学時調査結果（2018/9）③

## 人種への偏見があるか（ハーフ7名に対して）



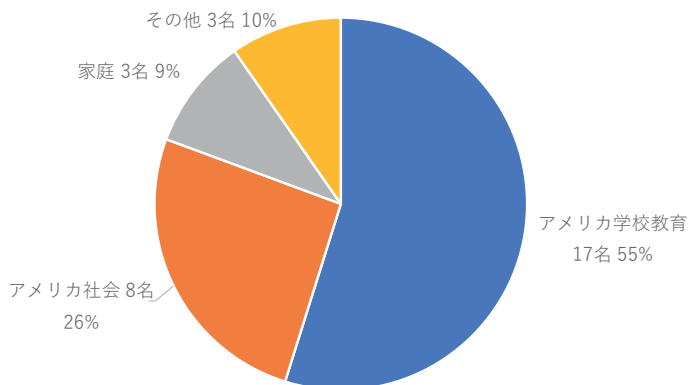
### あると答えた人の理由

- 両親に“黒人は怠け者”だと教えられている。しかし、その偏見をなくす努力をしている。
- 無意識に私たちは違うものであると認識している。
- 育った環境の影響から。しかし自身のその偏見に打ち勝つよう、闘っている。

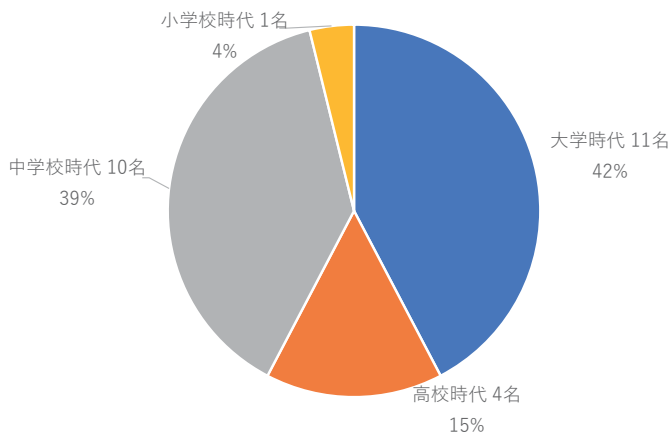
# 留学時調査結果（2019/3-4）①

- 調査内容：アイデンティティー調査
- 調査対象：現地学生、留学生
- 回答者数：35名

## アイデンティティーに影響を与えた環境



## アイデンティティーを意識し始めた年代

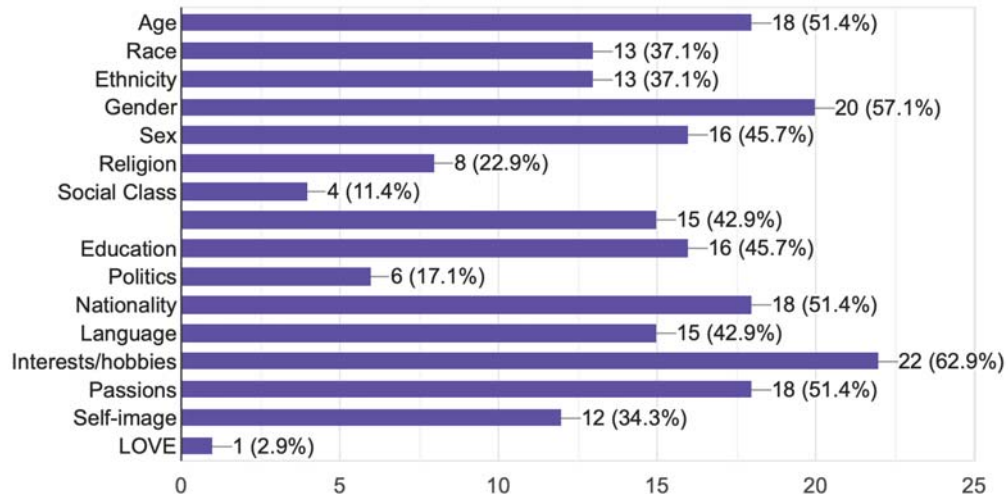




## 留学時調査結果（2019/3-4）②

自分が意識するアイデンティティの要素は何か

35 responses



## 留学時インタビュー（2019/3）

- 調査内容：日本で育ったハーフとアメリカで育ったハーフの考え方の差異
- 調査対象：日本人の父親と、ギリシャ・イタリアのハーフの母親を持つ。アメリカ教育を受けて育つ。

ハーフとして日本とアメリカで感じたことは。

- 日本を訪問するたびにすれ違う日本人からジロジロ見られたり、日本人とのハーフと知った途端にバイリンガルと勘違いされたことがある。
- 日本で日本語が話せる白人の友人とレストランに入った際、彼女よりアジア風の見た目の自分に店員が話しかけて来た経験が、日本人が見た目を重視すると知った瞬間。
- 名字(日本名)とアジア風の見た目から白人と捉えられることはないが、アメリカでハーフだからと差別偏見を受けたことは一度もない。
- 日本人としてのアイデンティティや自覚という確信的なものはなく、他のアメリカ人より日本に詳しい、日本を知っているという感覚。アメリカ人としてこれまでもこれからも生きる。

## 調査結果のまとめ

- 日本人のハーフに対する悪気のない先入観がハーフの葛藤を作り出している。
- アメリカ教育において高校生時代までには半数以上が自身のアイデンティティーについて考える機会が与えられている。
- 差別意識があると自覚がある人は必ずその原因についても自分なりの解釈を持っていた。
- 学校教育の影響力の大きさ
- ハーフとしての自覚はあるものの、アメリカ社会において血統や両親の出身国よりも大切なものは自分が誰かという認識がなされていること。

## テーマ結果

- この留学を通じてハーフや日本人という枠に囚われずに、私らしく生きることがどの社会においても幸せに過ごすことができる鍵であると発見した。
- ただし、どんな人においても自分の帰属する環境があることはとても大切であり、仲間を持つことがその環境でも強く生きる原動力となり得る。
- 私自身がアメリカという環境下から影響を受けてハーフであることの葛藤を感じたことは一度もなかった。

## 考察結果

•ダイバーシティの代表格ともいえるアメリカにおいても人種差別が皆無であることは決してない。

→留学先地域の白人の割合がアメリカ全土と比較しても高い地域だったことから、より差別が生じた原因のひとつなのではないか。

•アメリカは世界でも比較的早い時期から人種差別問題が先鋭化して来た国であり、社会全体として差別に向き合ってきた歴史がある。アメリカでは教育においても人種差別と向き合う授業が格段に多く、そうした背景があって世界でも人種差別の解決に向けて先を行く国となっているのではないか。



“Every body is human.”

“We are all different so we should just love.”

“We are all human and more alike than different”

“Because I think we are humans in everywhere, the race not have any special for me.”

これらは全てアンケートの自由記述に寄せられたアメリカ人の人間に対する考え方である。

人類の進化の過程で土地にあった身体の機能、文化、思想が誕生したが、私たちの祖先はみなアフリカのホモサピエンスである。文化や人種の交差があっても人間であることに変わりはない。

## We are all human

これこそが普遍の価値としてこれから私たちの念頭に置かれるべき考えなのではないか。

## Introduction by Nina M. Cataldo

私がハーフという自身に内在したアイデンティティーに気づくきっかけとなったコミュニティHafu2Hafu主催者が本を出版した際の前書き。全てを理解した今だからこそ笑って話せるが、ハーフ=バイリンガルという日本人のステレオタイプは相当大学入学当初の私に響いていたようである。

I first met Tetsuro in 2017, when he did a presentation and workshop in Tokyo for his Häfu2Häfu photography project. Less than a week later, a dozen of us met for drinks in Shibuya. I watched a sheepish university student join us with her professor, who'd encouraged her to come along. She was one of us, but the look in her eyes said that she'd never met anyone like herself before. She barely spoke any English, as many in Japan might assume she would because of the way she looked. As Tetsuro and other häfu welcomed and spoke with her, I saw tears flood her eyes. It was as if years of uncertainty and isolation fell away, replaced by security and belonging; like she had finally found home. It was a moment of the häfu experience that gave me confidence and hope for what the project could do to transform others.

Tetsuro spent his childhood summers traveling from his home country of Belgium to Saga, Japan, much like my own experience of going back and forth between the States and Tokyo. To his Japanese cousins, he was "the gaijin" (foreign) cousin

テツローさんに最初にお会いしたのは2017年、Häfu2Häfuプロジェクトのプレゼンテーションとワークショップが東京で開催された時でした。数日後に参加者が連れ立って渋谷に飲みに行きましたが、教授に誘われて参加していたおとなしそうな学生が目に残りました。彼女もハーフでしたが、他のハーフには会った事がないと言わんばかりの困惑した表情を浮かべていました。容姿を見て英語を話せると思う人が日本には多いかもしれませんが、彼女は英語をほとんど話せないようでした。でもテツローさんや他のハーフ達が彼女を仲間に入れて話している内に、彼女の目に涙があふれてきました。まるで長年積み重なってきた不安や孤独がはがれ落ちるかのように。代わりに安心感と仲間を手に入れ、やっと居場所が見つかったかのように。この瞬間、私はHäfu2Häfuプロジェクトの意義を確信し、他のハーフ達にも同じようなきっかけを広めて欲しいと思うようになったのです。

ちょうど私がアメリカと東京を行き来していたように、子供の頃のテツローさんは、生まれ育ったベルギーから日本の佐賀に来て夏休みを過ごしていました。日本人のいとこたちにとって、テツローさんはたまたま日本語も話せる「外人」のいとこでした。でも夏の間ずっと一緒に遊んでいるうちに、人種も国籍も大した問題ではなくなっていました。



年末年始にもう一つの母国ニュージーランドに帰って来ました。

この留学が自身をハーフや何人というカテゴリーに閉じ込めずありのままの自分でいていいということを教えてくれました。

英語を使ったコミュニケーションだけでなく、人間としてひとまわり成長した姿を3年ぶりに会った家族に見せられたと思います。

小山台財団のプロジェクトに参加し、留学をひと回りもふた回りも良いものにできたことを嬉しく思い、今後の人生に必ず役立てます。

本留学の実施にあたり、  
終始研究過程を温かく見守って  
いただき、適切な助言を賜り、  
また懇切丁寧にご指導くださっ  
た小山台教育財団の皆様へ深く  
謝意を表します。  
ありがとうございました。



2020年1月25日 ミッチェル ティファニー希

# 台湾留学の報告

早稲田大学教育学部4年  
佐藤圭一郎

## 期間・場所

2018年8月26日から9月  
15日の20日間

大学の短期留学制度を  
利用

留学先は国立台湾師範  
大学国語教学センター



## 留学の動機

自分たちの文化が優勢で当たり前だという感覚に対する疑問

一方で、否定する意見とに二分されており判断がつかない。自分自身で海外に行って外から日本をみておきたいと感じた

## 留学先の国を決定した理由

台湾は比較的親日が多いと言われている。それを留学で確かめてみたいと思った。

留学の動機を達成するための、コストとの兼ね合い

# 留学先機関 を決定した 理由

大学の短期留学制度を活用できた

台湾国内では有名な大学なため、安心感

国内では教育分野でNo.1の実績を誇る

世界中から、中国語を学びに学生が訪れている

## 留学で得た知見 (1 / 3)

交流した台湾人の多くは日本に親しみを感じている

ただし日本人留学生と積極的に交流してくれる人は日本に対して好印象なのはあたり前

台南市には韓国従軍慰安婦問題でとりあげられている少女像が飾られており、日本に良い印象をもたない台湾の雰囲気があることも事実。

→台湾人全員が親日と捉えるのは短絡的





# 留学で得た知見 (2 / 3)

日本占領期時代の建物が多く残っている

Ex. 台湾総督府（現在は中華民国総統府として利用）

経済発展に貢献した日本人が評価されている

Ex. 八田与一（烏山頭ダム建設）

同じく占領下にあった過去がある韓国とは対照的



## 台湾の親日性について

### 二・二八事件

日本敗戦後、大陸から来た国民党による民衆弾圧のきっかけになった事件。多くの犠牲者を出した

「犬去りて、豚来たる」

→（犬＝日本、豚＝国民党）

戦前に台湾を統治した日本に対する郷愁を呼び起こし、日本に対して抱く好印象につながっていると思われる。



## 親日傾向について

戦前に台湾を統治した日本に対する郷愁を呼び起こし、日本に対して抱く好印象につながっていると思われる。

日本はアメリカの文化をとりこんで戦後の社会を形成してきたといえるが、台湾人が日本に対して抱く気持ちは、それに匹敵するものではないかと感じた。



## 留学で得た知見 (3 / 3)

台湾国内に顕在する国威発動の施設たち

中正紀念堂

国父記念館



## 大陸との 関係

大陸に対して、強いアイデンティティを持つようになった？

国威発動の施設が多い

繁体字（台湾内の漢字）は正統な中国語を受け継いでいるというプライド

## 留学を終えて

現地台湾の人にしてもらった親切な対応を日本でも心がけたい

外人が言葉がわからない状態でも暖かく接することが大切なことであると感じた

台湾では個人商店でも英語表記は当たり前であるが、日本では大きなチェーン店でも英語表記されていないところがある。改善すべきところが多い。


## まとめ

台湾の親日性は現地で確かめられた上、その理由の中に二・二八事件が関わっていることも推察される

台湾の支配者は、ポルトガル→清→日本→中華民国と変遷

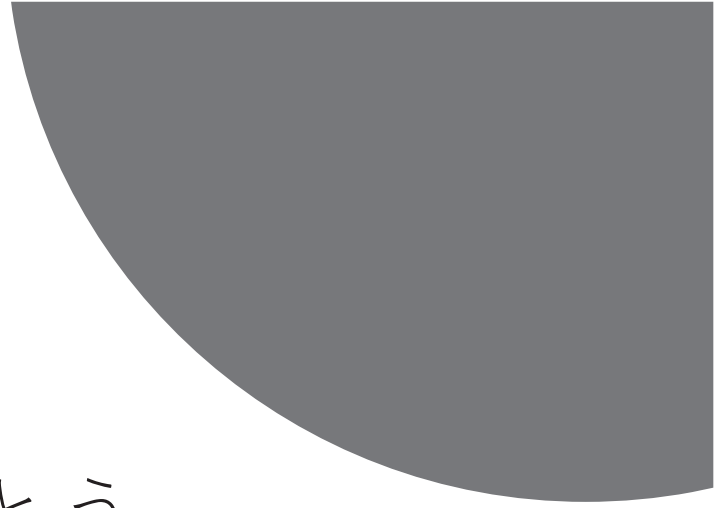
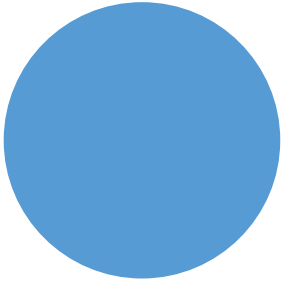
支配者が度々変わっていく中で、台湾としてのアイデンティティを強く持つ必要が生まれたのではないか

現在の香港の状況を鑑みると、今後台湾の情勢に注目していく必要がある



今回の留学を実行できたのは、  
小山台教育財団皆様のご支援の賜物です。

誠にありがとうございました。



ご清聴ありがとうございました

